

【招待講演】

全脳アーキテクチャーから目指す汎用人工知能

山川 宏 (株式会社ドワンゴ 人工知能研究所)

講演概要:

AI 研究は元来ヒトのような汎用知能を目指しており、それが実現すれば経済的／社会的なインパクトも大きいですが、実用的には個別の問題を解決する特化型 AI が発展してきた。知能システムは、汎用性を追求するほどに、多様な可能性の中から妥当な知識構造を選択する必要がある、それに必要なデータと計算量が膨大となるためである。近年の、ディープラーニングは、脳を参考にしつつこの課題に対する一つの落とし所を示した点において意義深い。こうした汎用人工知能を実現する道筋として、脳をガイドとして、機械学習の組み合わせとしての認知アーキテクチャを構築する方法をとる、全脳アーキテクチャー研究について紹介する。